



Viva地球

地球の上で共に生きる

毎月10日はCOP10の日/企画・制作 中日新聞広告局

「Viva地球」の過去記事をはじめ中日新聞が関わる環境イベントなどの情報について「中日環境net」でもご覧いただけます。

http://eco.chunichi.co.jp Web 中日 エコ

株式会社フルハシ環境総合研究所 代表取締役社長

Interview 船橋康貴 vol.11

Yusuki Funahashi



環境教育、環境コンサルティング、CSRサポートなどを事業とし、自社を「社会貢献企業」と位置づける。講演では「環境は引き算の美学。何かを減らしたり改めたりやめたりすることで、企業にとって予算をかけずに大きなコストダウンができるチャンス」と中小企業の経営者に多い、メリットを見出せないで環境に取り組めない、という誤解を解きほぐす。来年は会社設立から10年目。環境で世の中をつなぐ、たくさんの企画を考えている。

エコな気持ちで世界とつながる

家庭人の領域にまで、環境行動を誘発

講演で「環境への取り組みはコストかメリットか?」と問うと、はじめは多くの経営者がコストと答えますが、終了後にはほぼ全員がメリットへと発想を転換されます。

「人が言ふことをモチベーションに」という発想を原点に、当社が企業向けに開発したエコモチ

生活を楽しむことに役立ててもらえたら。環境教育をその領域にまで踏み込ませることを目標にしています。

世界はもっとけない事情を手助けする『エコモチ』

「人が言ふことをモチベーションに」という発想を原点に、当社が企業向けに開発したエコモチ

「人が言ふことをモチベーションに」という発想を原点に、当社が企業向けに開発したエコモチ

「人が言ふことをモチベーションに」という発想を原点に、当社が企業向けに開発したエコモチ

「人が言ふことをモチベーションに」という発想を原点に、当社が企業向けに開発したエコモチ

「人が言ふことをモチベーションに」という発想を原点に、当社が企業向けに開発したエコモチ

「人が言ふことをモチベーションに」という発想を原点に、当社が企業向けに開発したエコモチ

現在までに約20万人が世界とつながる 『エコモチ』の企画当初は三十五社によるコンソーシアムの形で、議論しながら基礎を作り出した。企業負担は、社員一人につき月間三二五円。反響はよく、現在までに六十八社約二万人が参加し、約三三五万シード、すなわち二三五万回、環境にいい行動がとられたことになりました。それは約三〇六トンのCO₂削減と七七〇万円のコストダウンに相当します。

ヨーロッパの環境ノウハウが日本を越えてアジアへもたらされ、アジア諸国は積極的に環境への取り組みを進めています。アメリカも大きく変化しました。環境技術分野において先進国を自負する日本ですから、COP10でもリーダーシップを取っていききたいですね。



環境副読本を使用した中国の小学校での授業風景

目撃者たちの 未来への伝言



地球の緑、身近な緑

中央アジア・ウズベキスタンとカザフスタンの国境沿いに位置するアラル海が今、干上がり、消滅の危機に瀕している。アマダリヤ川とシムダリヤ川の豊富な水が注ぎこみ、世界で4番目の大きさを誇ったアラル海。旧ソ連時代、綿花栽培による

灌漑(かんがい)のため、二つの川の水を大量に使い込み、アラル海へ流れこむ水が極端に減ってしまった。

46億年もの地球の歴史のなかで、人間による環境破壊のため、たった40年で湖が干上がろうとしている。

Eyewitness 会田法行(写真家)

「環境活動は楽しい」をコンセプトに、イラストや写真を多用。お説教や、やらされている感や排除して五感を使ったワークショップも取り入れた内容で、教材の革命と評判になり、中国の環境科学学会でグランプリを受賞しました。この環境副読本は企業が購入し周辺の学校に配



親子を対象に環境のワークショップも実施している

「環境活動は楽しい」をコンセプトに、イラストや写真を多用。お説教や、やらされている感や排除して五感を使ったワークショップも取り入れた内容で、教材の革命と評判になり、中国の環境科学学会でグランプリを受賞しました。この環境副読本は企業が購入し周辺の学校に配

「環境活動は楽しい」をコンセプトに、イラストや写真を多用。お説教や、やらされている感や排除して五感を使ったワークショップも取り入れた内容で、教材の革命と評判になり、中国の環境科学学会でグランプリを受賞しました。この環境副読本は企業が購入し周辺の学校に配